

平成29年度

総務・母校支援委員会 活動報告

平成30年2月3日

総務・母校支援委員会

委員長 田中 準一

1. 定例委員会の開催と主な検討事項

第1回委員会(2月6日)

- ◆Y校会の名称を「Y校同窓会」に変更すべきではないか。(継続検討)
- ◆母校のホームページにY校会の活動を掲載するよう折衝。(折衝後、掲載が実現)
- ◆Y校会創設20周年記念式典を成功させるための施策を討議。

第2回委員会(4月24日)

- ◆母校に遺構の名称を付けて頂き、その名称版を作成し寄贈する。(後日、表彰・寄贈実施)
- ◆母校要請の新生入生・新任職員向けに「漫画で知るY校のはじまり」の増刷。(後日 増刷配布)
- ◆母校で実施中の短期留学制度を支援すべきか検討開始。

第3回委員会(6月30日)

- ◆遺構の名称「誠の礎」が決まり、名称版のデザイン及び製作費用の検証。
- ◆Y校会「奨学金制度」創設に向けた検討を進める。(「Y校会海外研修奨学金」として創設実現)
- ◆創設20周年記念式典の概要説明と執行について事務局としての意思統一。

第4回委員会(8月25日)

- ◆母校の要請を受け海外研修支援制度設立に向け、財源、規模、方法等具体的な意見交換。
- ◆創設20周年記念式典の来賓の人選や参加者に配布する記念品を検討。(後日、シューシューマイに決定)

第5回委員会(9月22日)

- ◆新設なった「Y校会海外研修奨学金」の財源確保の方法や運用規約制定の策定等を議論。
- ◆創設20周年記念式典の準備状況を把握する。
- ◆懸案事項の支援基金を一般会費とは別に募ること議論。(時期尚早、まずは会員増に努める)

2. 母校と意見交換会の実施と主な内容

第1回交換会(6月30日)

- ◆Y校会創設20周年の歩み及び平成26年度からの母校支援の実施内容を報告。
- ◆今後の母校支援策の立案に有効な情報提供をお願いした。

第2回交換会(8月21日)

- ◆小関校長代理から海外研修のH28年度の実績とH29年度の募集内容の説明を受け質疑。
- ◆母校の海外研修への支援要請内容の確認と反対にY校会からの要望事項をすり合わせ。

第3回交換会(9月22日)

- ◆母校の小関校長代理に「Y校海外研修奨学金」制度を創設し29年度からの実施を通知。

3. H29年度に実施した母校支援内容と金額

	支援額(千円)
●遺構銘板の作成(製作費8.5万円、「誠の礎」命名者に記念品 3千円)	87
●「漫画で知るY校のはじまり」1000部贈呈	99
●Y校海外研修奨学金の贈呈(台湾 9万円、バンクーバー18万円、NY21万円)	480
計	666

4. 「Y校会創設20周年の集い」祝賀会の開催を企画と運営

今年度当初から準備を進め、11月25日 ローズホテル横浜(ザ・グランドローズボール ルーム)に於いて祝賀会を開催、当日は主賓及び多くの会員参加により盛大に開宴した。当委員会は受付業務を中心に活動した。

5. その他

- ◆母校 校長室で、遺構の名称「誠の礎」の考案者 城間涼さんへ副賞(図書券)贈呈。
- ◆定例委員会終了後の懇親会に加え暑気払い・忘年会を設け 各委員との親睦を深めた。
- ◆第一回及び第三回の母校との情報交換会の後、Y校卒業の現教職員と懇親会を開き、より有効的な母校支援などについて意見交換を行った。

以上